

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつつつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



筆者：小出陽子 (Yoko KOIDE) 一級建築士。  
2000年、UNESCO 遺跡保存オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シエムリアップにレストラン「Cafe Moi Moi」をオープンする。現在は、建築設計とレストラン経営のかたわら、JST (NGO、アンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構) を運営し、農村地域の支援活動を行っている。

## 南の国の大きな森での車座会議



森の木をイメージした大きな屋根  
Roof of the Bayon  
Information Center

私がカンボジアに関わるきっかけとなった「日本国政府アンコール遺跡救済チーム」の拠点となる施設は、オフィス・研究室の他、専門家の居住棟、多目的スペース等が含まれる複合施設です。この中で設計の要となったのは、遺跡保全に関する国際会議を実施することが想定され、敷地中心部に配置された多目的スペースでした。この建物を中心に、私はひとつの強いイメージを持って全体の設計を進めることとなりました。

会議を行う場所というと、一般に、冷房を効かせた四角い箱型の部屋を想起されるかもしれませんが、ここはカンボジア人の心の拠り所ともいえるアンコール遺跡群の保存を、技術的な面でリードしていく中心施設。そして、遺跡修復の学術的調査の過程で得られた、当時のアンコールの人々の思想と知恵、さらに現代の修復技術者たちの活動と思いを、世界に向けて発信する役割をも担っていくことになります。何か求心的な、人を惹き寄せるような力を込める必要があると思いました。

一方、数々の寺院や都市がつくられ繁栄したアンコール時代、その基盤となったのは、豊かな自然資源を内包した“森”でした。そこに人々が集い、知恵と力を結集することによって、あのような壮大で、人為を超えた偉業が創出されたのです。いつしか、私の中で、そのような“アンコールの森”のイメージが、人々が集まり、そして新たな“何か”を生み出すであろうこの施設のイメージとぴったりと重なり合うようになりました。

壁のないオープンな八角形空間、大柱が天空に伸び、柱頭部で枝分かれして大きな屋根を支えています。深い森、すべてのものを包み込む木々を想定しました。360度見渡せる庭には、色とりどりの南国の花が咲き誇っています。蓮池からは涼しい風が…。そのような中で会議が行われるとしたら、南の国の酋長たちが車座になって話し合うイメージとなるでしょうか…。

2002年、施設は完成しました。完成後は、日本とカンボジアの文化交流の場としても活用され、2009年からは、アンコールの歴史と修復に関する展示施設「バイヨン・インフォメーションセンター」として、毎日、一般公開されています。このように、多くの人に愛され、年々発展していく施設の姿を見ることは、建設に携わった者としてはこの上ない喜びです。今後はどのような進化を見せてくれるのでしょうか？ 皆さんも、シエムリアップに来られる機会があれば、一度、立ち寄ってみてください！



手品公演が催されたこともあり、施設は子供たちの歓声に包まれました

A scene from an event for children in the Center

## Like a Jungle Meeting House

As an architect, my first job in Cambodia was to design new buildings for the Japanese government team for Safeguarding Angkor (JSA). Within the compound, there are many kinds of buildings. Among them, the main building is a multi-purpose hall. When I designed it, I did not want to make it an ordinary building. I thought, 'It should be like the woods, where the ancient people gathered and discussed their issues.' So, I designed the building without walls. Long pillars support the roof. The building was completed in 2002. You can visit the building anytime, just look for the 'Bayon Information Center.'